キャラクター名
鷹木　信彦

プレイヤー名

シンドローム	バロール バロール	ワークス	UGN支部長C	カヴァー	探偵
オプショナル		年齢	18	性別	男
覚醒	渇望	衝動	嫌悪	初期侵食率	127 %
出自	双子	経験	汚れ仕事	邂逅	いいひと

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	1			1
感覚	2	0	0			2
精神	4	1	2			7
社会	2	0	0			2

HP	29
行動値	11
(非装備時)	11
戦闘移動	16
全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	3		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	4	
運転：			芸術：			知識：心理学	2		情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	1r	0	-5		(´∀`)≡○)`Д°).･;'∴
フェアニッヒトゥング		12r+3	0	13		1→2→3+4+5+6 侵蝕値:16 <RC> ｾｯﾄ→ｱｲﾃｰﾑｼﾞｬ 対象:範囲(選択) C値-2 装甲無視 2/シナリオ
フェアニッヒトゥング		13r+3	0	13		1→2→3+4+5+6 60%↑ 侵蝕値:16 <RC> ｾｯﾄ→ｱｲﾃｰﾑｼﾞｬ 対象:範囲(選択) C値-2 装甲無視 2/シナリオ
フェアニッヒトゥング		14r+3	0	13		1→2→3+4+5+6 80%↑ 侵蝕値:16 <RC> ｾｯﾄ→ｱｲﾃｰﾑｼﾞｬ 対象:範囲(選択) C値-2 装甲無視 2/シナリオ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
防弾防刃ジャケット	6	3	0	0	
サングラス	0	0	0	0	信彦はサングラスをかけている

合計装甲：	3	合計回避：	0

所持品	
コネ：警察官	
コネ：情報屋	
自動巡回ソフト	
コネ：要人への貸し	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
複製体<デュプリケイト>	P Dロイス	N		
ジニー・フィーア・スタイン	P 連帯感	N 食傷		
双子「鷹木蓮」	P 庇護	N 食傷		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12	残り財産P： 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
小さき魔眼	1	3	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果：	バロールのエフェクトを組み合わせたエフェクトのダメージ+LV*2							
ダークマター	5	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	バロールのエフェクトを組み合わせたエフェクトの判定+(LV)D							
黒の鉄槌	4	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果：	「攻撃力:+[LV*2+2]」の射撃攻撃							
因果歪曲	2	3	メジャー	-	範囲(選択)	-	-	
効果：	エフェクトの対象を範囲(選択)に変更する シナリオLV回							
振動球	1	5	メジャー	視界	-	対決	Dロイス	
効果：	「攻撃力:+[LV]」の射撃攻撃　装甲無視							
コンセントレイト:バロール	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：	クリティカル値-LV（下限値7）							
時の棺	★	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果：	相手の判定が失敗になる　1シナリオ1回							
帝王の時間	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	ゆっくりと流れる時間の中で過ごす							
ディメンジョンゲート	★	-	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果：	空間をねじ曲げて自分が知っている場所に繋がるゲートを作り出す							
魔王の玉座	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	常に浮遊して行動している。							
効果：								
効果：								
効果：								

FHの研究所の培養液の中で生まれた信彦は、その研究所を襲撃し破壊したUGNの部隊に保護された。
日を同じくして生まれた女の子の蓮もUGNに保護された。
二人共、保護された時点でおよそ12歳くらいの身体でその後はUGNで働く事になり結果支部長になった。
蓮とは双子として扱われ、蓮は現在高校3年生として過ごしている。
一方、信彦は発症したシンドローム「バロール」のエフェクトの影響で蓮よりも遅い時間を過ごすことになり、妹の蓮よりもかなり成長した外見をしている。(およそ30歳前後)
そのせいもあってか、信彦は外の世界では高校生ではなく、探偵として働いている。
経歴などはUGNの操作で詐称している。
警官の谷修成とは、過去に起きた大規模なオーヴァード(ジャーム)事件で関わり、それ以降よく会うようになった。
その事件のジャームとの接触の際、信彦の体にシンドロームが発症した。
「力が欲しい」と、そう願った信彦は時と重力を操る力を手にしていた。
その時の心身のショックも真摯になってケアしてくれ、彼への友情は厚い。
彼のコネもあり、探偵業も成果はそれなりのようだ。
蓮は高校が終わった後に探偵事務所に遊びに来る事もあるようで、その度に信彦にベタベタしている。
そんな彼女を鬱陶しく思う反面、とても大切にしている。

時折、街を歩いていると脳内に知らない記憶がチラつくが、きっとそれは信彦のオリジナルの記憶なのだろう。
信彦は知らない誰かと共存しながら、今日もN市にひっそり佇む探偵所で“ゆっくり”と時間を過ごす。